

土浦平和の会

ニュース NO.33 '96年7月 T

発行 土浦平和の会
事務局 土浦市神立町2 6 64-2
TEL 31 9122 。。。

__ 瞼

痕

平和行進成功裏に終わる

画IT

ージフ

1996年国民平和行進は11日石岡市役所前を出発して中貫交差点を經由、12時30分予定通りの時間に亀城公園に到着しました。当日は台風上陸の予報を見事にはねかえして、快晴の真夏日のもと一行は元気いっぱいでした。亀城公園で昼食休憩の後交流会がおこなわれ、通し行進者の西沢さんは「広島で被爆した従兄弟の供養のために、昨年の東京・広島コースを初めとして、全国11コースを全部歩きたい。」と決意を述べました。新日本婦人の会が準備してくれた200個のおむすびを全部たいらげた70余名は予定通り13時30分亀城公園を出発、茨城コープ小岩田店でお茶やハーブ茶の接待をうけ、阿見町の自衛隊補給基地前の小休止の時は古沢土浦市議から阿見の自衛隊基地の増強の現状について説明を受けました。終点の荒川沖駅は予定通りの16時30分到着、つくばへの引き継ぎをおこないました。当日の行進参加者は平日にもかかわらず延べで約80名でした。参加者ならびに接待のみなさまご苦労様でした。(実行委員会事務局)

父母と高校生の平和トーク交流§

土浦母親大会の平和分科会の第2部として企画された「平和トーク交流会」は7月7日(日)午後、3申地区公民館においておこなわれました。会は合田さんの司会で始まり、茗溪学園の文化祭「桐創祭」に上演された創作劇「招かれざる客」についての感想が主な話題になりました。参加した茗溪学園の生徒は中3から高2まで6名、それぞれが演劇に参加する中で沖縄の歴史や現状を学び、沖縄をもっとみんなに知ってもらわなくてはと訴えました。父母たちの感想では「高校生が自分たちでテーマを選び、台本を書いて舞台を作り上げたことに感動した。」「高校生の中で平和について関心が高まっているのが喜ばしいことだが、先生がたの指導がどの学校でもそうっていないのが残念だ。」という声が多かったです。朝鮮高校との交流の中で話された従軍慰安婦の話や、戦争中の茨城や土浦の話、国立病院の防空壕の話、沖縄戦と松代の大本営跡など話題はつきないほどでした。「招かれざる客」は茗溪学園土浦地区父母の会の要望で9月23日(秋分の日)つくばカピオにおいて再演されます。(事務局)

原水禁世界六会代表派湍カンパ

にご協力(ください)

1996年原水禁世界大会に土浦平和の会代表として香取さんを送ることになりました。理事からお願いに伺いますので、ご協力ください。なお理事との連絡がつかない場合は事務局に郵送くださってもけっこうです。

ヒロシマ・ナガサキからの

アピー/し署名を進めよう!

1995年に採択されたアピール署名が12年目の今年、全国で住民過半数を達成するかも知れないところまで来ています。核兵器全面禁止・廃絶を訴える署名をできるだけ新しい層に向かって、とりあえず1人10名分やりましょう。

行事ごよみ

- 7月16日 土浦平和の会理事会(1申地区公民館)
- 7月 日 土浦平和の会阿見基地調査
- 8月2 4 百里ヒースキャンプ
- 8月12日 県平和委員会常任理事会(水戸)
- 8月15日 平和の集い(検討中)
- 8月20日 土浦平和の会理事会(1申地区公民館ド池9)
- 8月25日 笠木 透プレコンサート(霞ヶ浦観光舳島)
- 9月初旬 平和の旅(検討中)

1996年原水禁世界大§

日程

- 8日2 4日 国際会議(広島)
- 4日 世界大会間会総§(広島)
- 5日 分散会・分科会(広島)
- 6日 世界大会広島閉会総会
- 8 9日 頸崎大§